

2026年7月9日

[配信枚数2枚]

発信元 滋賀大学総務課企画・広報室

報道関係者 各位

## 「滋賀からカナダへ」移民の歴史展3 開催 家庭に眠る移民資料の保存・継承を呼びかけ

滋賀大学地域連携教育推進センターおよび滋賀・カナダ移民研究会は、「滋賀からカナダへーこの地に残る移民の歴史展3」を開催します。

本展では、滋賀からカナダへ渡った人々の歩みや地域に残る移民の遺産を紹介するとともに、新たに始める「カナダ移民史料写真保存プロジェクト」への協力を呼びかけます。

つきましては、広く周知いただくとともに、取材のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

### 【開催概要】

会 期：2026年7月13日（月）～7月24日（金）※土・日・20日（月・祝）を除く

開場時間：9時～16時45分（最終日は12時まで）

会 場：彦根市役所1階ホール（彦根市元町4番2号）

観 覧 料：無料

主 催：滋賀・カナダ移民研究会、滋賀大学地域連携教育推進センター

協 力：彦根市観光文化スポーツ部文化財課、滋賀大学経済学部附属史料館

### 【背 景】

滋賀県からカナダへの移民は、明治期から活発になりました。移民した人々は、厳しい労働環境や差別に直面しながらも生活の基盤を築き、郷里の寺社仏閣や地域事業への寄付などを通じて滋賀とのつながりを保ってきました。しかし、第二次世界大戦中には日系人が強制収容され、戦後も分散政策や同化が進みました。

また、世代交代とともに、移民の経験や滋賀との関係を語れる人が減り、家庭に保管されてきた写真、手紙、旅券、生活用品などが、その価値を知られないまま処分されることも増えています。これらは、地域と国際社会の歴史を伝える滋賀ならではの貴重な資料であり、早急な記録と保存が求められています。

## 【展示内容】

本展は、2025年11月に滋賀県立大学、2026年1月～2月に滋賀大学で開催した展示に続く第3回目です。彦根市民をはじめ多くの方に、移民の歴史と地域に残る資料・遺産を知っていただくため、次の内容のパネル展示を行います。

1. 滋賀・カナダ移民史年表と移民の出身地
2. カナダへ渡った人々の人物紹介
3. 戦後補償（リドレス）に関する資料
4. カナダ移民が寄付した寺社仏閣など、滋賀県内に残る遺産
5. 家庭に残る資料を写真で記録する「カナダ移民史料写真保存プロジェクト」の紹介
6. 資料提供・情報提供の呼びかけ

## 【カナダ移民史料写真保存プロジェクト】

各家庭に眠る移民資料を、所有者の手元に残したまま写真撮影し、資料にまつわる情報とともに記録・保存する取り組みです。移民に関する古い写真、手紙、旅券、証明書、生活用品などをお持ちの方、または地域に残る移民の話をご存じの方からの情報を広く募ります。

## 【滋賀・カナダ移民研究会】

滋賀からカナダへ多くの移民を輩出した歴史を風化させず、記録・保存し、次世代に継承することを目的に2025年6月に設立。代表は松宮哲氏（『松宮商店とバンクーバー朝日軍』著者）です。

### ●本件に関するお問い合わせ先

滋賀大学 地域連携教育推進センター 担当：柴田

TEL：0749-27-1348 E-mail：fukugan@biwako.shiga-u.ac.jp